



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻
第11号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻第11号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1978, 24(11): 1008-1008

ISSUE DATE:

1978-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122277>

RIGHT:

泌尿器科紀要

第24巻 第11号

1978年11月

尿流量率に影響を与える排尿因子についての検討

—正常例および下部尿路障害症例の尿水力学的

検査結果からの検討—.....福井準之助・ほか 907

陰嚢内疾患におけるサーモグラフィの応用.....平山 綱 923

第10, 第11肋間切開による腎・副腎手術.....前林 浩次・ほか 931

多房性腎嚢胞の1例.....田所 茂・ほか 937

尿管異所開口の3例.....岡田 敬司・ほか 947

膀胱憩室腫瘍の1例と本邦82例における統計的観察.....森下 文夫・ほか 955

重複癌の2例(膀胱と胃, および前立腺と直腸).....柏原 昇・ほか 971

いわゆる Unstable Bladder に対する Flavoxate Hydrochloride の効果について

—とくに Urodynamic Examination からの評価—.....福井準之助 979

膀胱刺激症状に対する Flavoxate Hydrochloride 錠の使用経験.....安食 悟朗・ほか 989

尿路感染症における Talampicillin の臨床効果.....中川 清秀・ほか 995

尿路感染症に対する Ceftezole (CTZ) の臨床的検討.....秋山 隆弘・ほか 1001

CONTENTS

Studies of Voiding Factors in Relation to the Urinary Flow Rate

—Analysis of the Urinary Flow Rate in Normal Subjects and Patients with

Infravesical Obstruction—.....J. Fukui et al. 907

Clinical Application of Scrotal ThermographyA. Hirayama 923

The Supracostal Approach for Renal and Adrenal Operation... K. Maebayashi et al. 931

A Case of Multilocular Cyst of the KidneyS. Tadokoro et al. 937

Ectopic Ureteral Orifice: Report of Three CasesK. Okada et al. 947

Primary Neoplasma of the Vesical Diverticula: Report of a Case and a

Statistical Study of 82 Cases in JapanF. Morishita et al. 955

Two Cases of Double Cancer: Bladder and Stomach, Prostate and

RectumN. Kashiwara et al. 971

The Effect for Flavoxate Hydrochloride on So-called "Unstable Bladder

Syndrome".....J. Fukui 979

Clinical Experience of Flavoxate Hydrochloride for Irritable Condition of

the BladderG. Ajiki et al. 989

Clinical Use of Talampicillin in Simple and Complicated Urinary Tract

Infections.K. Nakagawa et al. 995

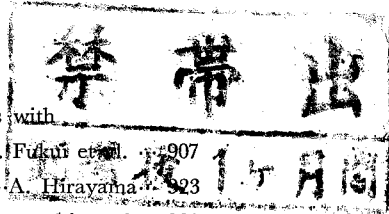
Clinical Studies on Ceftezole in Urinary Tract InfectionsT. Akiyama et al. 1001

〒606 京都市左京区聖護院川原町
京都大学医学部泌尿器科学教室
泌尿器科紀要編集部

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

Published by Acta Urologica Japonica
Department of Urology
Kyoto University Hospital
Sakyo-ku, Kyoto, Japan 606



編集後記

今年も余すところあと1号となった。この1カ月は目のまわる忙しさだろう。索引も作らねばならない。投稿規程も改めたい。3月号から本誌の編集に携わるようになって9号目である。どうにか編集・校正が少しわかってきた。ここで投稿諸氏に対して苦言なり注文なりをいってみたい。まず表である。むやみやたらに大きな表を作らないで欲しい。本誌の大きさを念頭に浮べて欲しい。1ページをフルに表に使っても最大限40段、1段50字しか入らない。もし外国の雑誌に投稿したらそれだけで掲載を断られるような表は、本誌でも本来は無理なのである。次に原稿は少なくとも清書していただきたい。現在はそのままで求めないが、本来なら表や図はトレースしたものを添えてもらいたい。最後に内容は冗長にならないようできるだけ簡潔にお願いしたいものである。

“泌尿器科紀要の今後の発展は、読者のご協力によってのみ可能である。とくに新進のドクターからの活発な投稿をお願いする気持をこめて、チェーホフのことばをしるしておきたい。「上手に書くということは削ることだ」「簡潔は才能の姉妹だ」と希望を述べられた本誌24巻2号の編集後記のT.T.氏のことばを載せておく。参考にしていただきたいと思う。(T.K.)

編集委員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 富 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購読要項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投稿内規(1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示ください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

泌尿器科紀要 第24巻 第11号

1978年11月25日 印刷

1978年11月30日 発行

創刊 稲 田 務

顧問 加 藤 篤 二

定価 500 円(送料別)

発行 吉 田 修

発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部泌尿器科学教室 電話 (075) 751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入